

平成31年1月30日

古賀市議会
議長 結城 弘明 様

補正予算審査特別委員会
委員長 村松 謙二

補正予算審査特別委員会 審査報告書

補正予算審査特別委員会に付託を受けておりました第103号議案「平成30年度古賀市一般会計補正予算（第4号）について」から第108号議案「平成30年度古賀市水道事業会計補正予算（第2号）について」までの6議案について、審査の経過と結果の報告をいたします。

審査に際し、さる1月22日に副市長をはじめ関係部長、課長の出席を求め、各補正予算案の概要説明を受けるとともに、各委員からの資料要求に基づく資料を参考に審査をいたしました。審査の経過につきましては、議長を除く議員16名全員による特別委員会であることから、内容等を含め、ご承知でございますので省略し、概要を報告いたします。

第103号議案「平成30年度古賀市一般会計補正予算（第4号）について」の審査概要としまして、第2表 債務負担行為補正、投開票システム改修委託、西鉄宮地岳線跡地土地利用整備事業、一部事務組合負担金について等の質疑を行いました。

討論に入る前、松島委員から第103号議案「平成30年度古賀市一般会計補正予算（第4号）」に対する修正案が提出されました。修正案は、「第2表 債務負担行為補正」の表中「文書各戸配布委託料」の項を削るもので、提案理由は、自治会加入者が大幅に減る可能性がある、業者委託は拙速であり他の方法も検討すべきとの説明の後、質疑を行いました。慎重審査を期すため、第103号議案の討論・採決は日程を延長し25日に実施しました。

（原案賛成意見）

- ・西鉄宮地岳線跡地の購入費用について、地元との話し合いにより合意ができた地域の買い戻しは、長らく放置されていた跡地が整備に向けて前進することとなり評価。
- ・債務負担行為補正分は今後進めていく事業であり問題はない。
- ・文書各戸配布の業者委託については、行政区長会で2年にわたり話し合わせ、アンケート調査も実施し丁寧に進めてきた。市民の負担軽減につながる。

（原案・修正案反対意見）

- ・西鉄宮地岳線跡地の活用で、市が土地開発公社から、国の補助金を使って買い戻す予算が提示されていることを市民は新聞報道で知った。丁寧な事業の検討を期待していた市民は、一気に車道化するのではないかと不安を感じている。市民への丁寧な説明

が必要だった。

採決の結果、第103号議案「平成30年度古賀市一般会計補正予算（第4号）について」に対する修正案は、賛成少数で否決、原案については、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

第104号議案「平成30年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について」は、質疑、討論は無く、採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第105号議案「平成30年度古賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について」は、質疑、討論は無く、採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第106号議案「平成30年度古賀市介護保険特別会計補正予算（第2号）について」の審査概要としまして、居宅介護サービス、負担金について等の質疑を行いました。

討論は無く、採決の結果、第106号議案は、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第107号議案「平成30年度古賀市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）について」は、質疑、討論は無く、採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第108号議案「平成30年度古賀市水道事業会計補正予算（第2号）について」の審査概要としまして、水道庁舎改修工事について等の質疑を行いました。

討論は無く、採決の結果、第108号議案は、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上、簡単ではございますが、審査の経過と結果の報告を終わります。